まちニュース

心の中に小さな種を
早世した柳内さんの絵画展

今年の元日に小児がんで亡くなった柳内翔太さん（享年二一）＝平＝の水彩画などを集めた「心に灯る彩（いろ）～まきしょうた絵画展～」が九月二十九日まで、平鎌田、東日本国際大学の一号館一階ロビーで開かれている。

会場には、自然が好きだった柳内さんがスケッチした山、花、地元の風景などの水彩画十五点を展示。いずれも柔らかな色づかいで描かれており、透明感が印象的。

柳内さんの遺影を持ち、作品展を紹介する母香織里さん

生前の写真や、闘病時に同じ病棟で出会った仲間三人と共同制作した絵本「くまたとなかまたち～さくら　さけ～」も紹介され、柳内さんの足跡をたどることができる。「まきしょうた」は柳内さんのペンネームで、母香織里さん（五三）の旧姓を採用した。

柳内さんは、同大附属昌平高通信制課程二年の時、小児がん「ユーイング肉腫」を発症。休学して県立医科大学附属病院で治療を続け、一時は寛解したものの再発した。それでも昨年十月に復学し、リモート授業などを通じて美術の単位を取得。

中学生の頃から絵画に興味を持ち、闘病中は外泊許可も得てスケッチを続けた。薄磯海岸には足かけ三年通い、塩屋埼灯台の絵を制作。白血病の女児のため、雪山を描いたこともあった。授業の課題として墨の濃淡で表現した作品「命のバラ」が遺作で、いずれも展示中。

絵画展の開催にあたり、香織里さんは「見てくださった方が、心の中に何か小さい種を持ってくれたらうれしい」と話している。作品展示は今後も、シルバーレジデンス孔輪閣などで予定されている。

自転車で疲れたら
休憩に海テラスを
江名諏訪神社

「海テラス」で神社応援セットなどを手にする江名宮司

ふくしま浜通りサイクルルートが「ナショナルサイクルルート」に指定され、自転車熱が高まる県内。区間の一部となっているいわき市でも、関係各所の取り組みが関心を集めている。

区間と重なる「いわき七浜海道」の中腹に位置する江名諏訪神社では、境内に屋外休憩所「海（あま）テラス」を設置。サイクリストが自由に利用することができる。

海に近い立地や最高神「天照大神」にかけた名称。テーブル席が三つ設けられているほかパラソルも用意され、炎天下にうれしい日陰も〝完備〟。高台にあるため海を望むことができ、潮風が心地良い。

江名守康宮司（五八）が昨年から本格的に自転車を始めたことが設置のきっかけ。江名宮司はすでに全国三つのイベントに〝参戦〟しており、「サイクリストが集い、出会った人たちと交流できる場にしていきたい」と話していた。

同神社では海テラスの設置に合わせ、「神社応援（ジンジャエール）セット」を授与している。自転車をモチーフにしたステッカーお守り二種、炭酸飲料のジンジャエール、御朱印風の神社応援ステッカーの三点セット。初穂料は二千円。自転車のハンドルなどに巻き付けるお守りも、初穂料八百円で授けている。

ひまわり信金
「フリーローン」
1月まで発売中

ひまわり信用金庫（本部・平＝上條博英理事長）は、「シン・ひまわりフリーローン」＝チラシ＝を令和九年一月二十九日まで発売中。

この商品は、不安定な中東情勢や物価高等が消費者の生活に大きな影響を与えている中、幅広いニーズに応えるため、新商品として取り扱いを開始した。

対象は、二十～七十六歳。安定、継続した収入があり（パート、アルバイト、専業主婦＝安定した世帯収入のある方＝も可）、同金庫の営業区域内に居住、勤務し、ドコモ・ファイナンスの保証が得られる方。

用途は自由。融資金額は十万～一千万円（一万円単位）。期間は六カ月～十年。利率は、三・五〇、五・五〇、七・五〇、九・五〇、一一・五〇、一三・五〇、一四・五〇％（保証料込み）となっている。返済方法は、毎月元金均等または元利均等分割返済。担保・保証人は不要。

同フリーローンのご成約者には、「べこ政宗の厚切り牛たん」などのこだわりのグルメギフト三千円相当をプレゼント中。

詳細は、同金庫・各支店まで。